

あすならホーム富雄 定期巡回サービス

介護・医療連携推進会議議事録

開催日時	令和7年9月13日（第52回）
運営推進会議メンバー （本日の参加者）	利用者・家族：1名 市・包括職員：1名 連携薬局薬剤師：1名 地域代表：4名 職員：9名
利用者登録状況	安心ケアシステム（定期巡回） 8月利用実績 ・定期巡回サービス: 2月実績 82件、訪問看護利用 73名。要介護1以上が対象。 ・デイサービス: 2月平均 16.5名/日、利用回数 510回。 ・ショートステイ: 2月平均 17.5名/日、利用回数 541回。 ・ケアプランセンター: 担当件数 167件、要支援 18名。
議題	・事例報告（定期巡回・訪問看護サービスの紹介） ・地域連携に関する意見交換
議事	事例報告（定期巡回・訪問介護サービスの紹介） 概要:訪問看護の主な業務について ① バイタルサインのチェック（血圧、脈拍、体温、酸素飽和度） ② 腹部・胸部の聴診 ③ 浮腫・経口摂取量・排便の有無の確認 ④ 褥瘡や傷、人工肛門の処置 ⑤ 点滴 ⑥ 清拭やシャワー介助 ⑦ 傾聴・相談対応 ⑧ 内服管理 ⑨ テレビ電話の活用し、定期的な安否確認に使用。利用者の状態をリアルタイムで確認可能。緊急時の対応にも活用。 ⑩ターミナルケア…利用者の希望に応じて自宅でのケアを提供。家族への説明と支援実施。疼痛管理のための医師との連携。エンゼルケアの実施（家族の希望に応じて） ⑧の内服管理では、薬剤師との連携を図っている。 《薬剤師の役割》 ○自宅での薬カレンダーへの薬のセット ○薬の相互作用や生活習慣との関連チェック ○服薬スケジュールの最適化提案

	○利用者の生活状況に合わせた服薬指導 ○看護師との情報共有による効果・副作用の確認 《連携のメリット》 ○迅速な薬の効果判定と調整が可能 ○専門的な薬の管理による安全性の向上 ○緊急時の薬の提供体制の確保（24 時間対応） ※専門職に見てもらえることで安心してケアにあたることができる。
評価・要望・意見等	●薬剤師と連携し夜間や休日にも対応してもらえることは、利用 者もケアにあたる職員も安心できる。 ●TV 電話の電波状態が悪くなく繋がりにくいことがあるが工夫し てかけるようにしている。 ●富雄団地では高齢者の 1 人暮らしが増え、近年自宅で亡くな れる方が増えているが、民生委員の人数が減少している。UR で も見守りサービスを実施しているので、何かあれば相談してほし い。（奈良住まいセンター様より）
その他必要な事項	●5/1 付で前事務長の林が施設長に就任したことを報告。 ●2025 年度の秋の学習会を 10・11 月に 3 回開催する。（出張で の開催も可であることを周知。） ●ケアプランセンターの移転を再度周知。 ●あすなら安心支援システムの再開を報告。 ●12/27 に角松作りイベントがあり、地域の方々と一緒に角松を作 成予定。

次回開催予定： 2026 年 3 月（場所：あすならホーム富雄 1F サロン）